

マラウイ・エヌクウェニ通信その3 2018年6月1日

Nili makora. (ニリ、マコーラ。) 英語で I am fine. 日本語で「私は元気です。」を意味するマラウイ北部の現地語「トゥンプカ語」の挨拶です。マラウイに派遣されてから8か月目です。

今回は、マラウイ最北端の街、「カロンガ」で活動している福島県出身の渡邊あすみ隊員（コミュニティー開発）と岐阜県出身の河寄菜月隊員（看護師）の応援に行ってきた「カロンガフェスティバル」についてお知らせします。

マラウイで活動する福島県出身の隊員紹介 (2018年6月1日現在)

福島県から青年海外協力隊としてマラウイに派遣されている隊員は、現在3人います。福島県のホームページ「地球探検」で隊員の活動の様子を知ることができます。その他の国でも福島県出身の協力隊は大勢いますので、皆さんのレポートもぜひ読んでみてください。

- ・2016年度2次隊 岩田浩司さん（障害者支援）『活動報告』
- ・2016年度3次隊 渡邊あすみさん（コミュニティー開発）『Taonga 通信』
- ・2017年度2次隊 猪狩尚史（公衆衛生）『エヌクウェニ通信』

カロンガフェスティバル

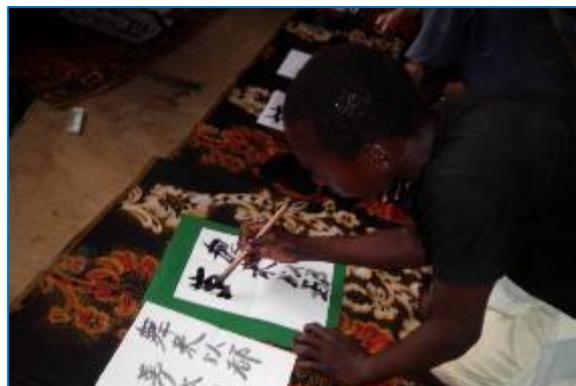
「カロンガ」はマラウイ最北端に位置する街で、首都リロングウェから北へ約600km離れています。エヌクウェニからも約150km北へ離れています。中心部から北へ約30kmにはタンザニア、西へ約100kmにはザンビアという国境近くにあります。マラウイ湖にも面しています。

そのカロンガで活動している渡邊あすみさんと河寄菜月さん（2016年度1次隊）が共同企画し、2018年3月31日に「カロンガフェスティバル」を開催しました。

このイベントの目的は、マラウイの人が「日本という国や文化を知り、体験してもらう機会を作る。」、青年海外協力隊がマラウイで生活する中で日々現地の人々に多く助けられ多くのことを教えてもらったことへの「マラウイへの感謝の気持ちを伝える」だそうです。2人の隊員の意思に賛同し、当日は、マラウイ全土から各地で活動する職種も隊次も違う隊員が21名集まり、総勢23名でカロンガフェスティバルを盛り上げることになりました。

カロンガフェスティバルでは、日本の紹介をはじめ、遊び（紙芝居、折り紙、けん玉、お手玉、ぬり絵等）、書道、箸の使い方等の体験を通して、日本を知ってもらうことができました。

私は書道コーナーを担当し、参加者には自分の名前を漢字で書くことにチャレンジしてもらいました。自分の名前を日本の書道で楽しく書くのが目的です。はじめに名前を聞いて、漢字を当てはめて見本を書きます。「ブライト・ムフォンディアさん」には、「舞来以都夢本田亜」という漢字を使って名前を書いてもらいました。座る、半紙を置く、筆を持つ、筆にすずりの墨をにつけて筆をならす、文字を半紙に書く、全てが初めてです。文字のバランス、力の入れ具合、書き順はバラバラでも、初めての書道は真剣そのものです。自分の名前を書きあげた時は、とても喜んでくれました。アルファベット以外の文字を使った自分の名前に興味を持ってくれたようです。マラウイの人たちに、日本の書道を知ってもらえて良かったです。



子どもたちとフェスティバルを楽しんでいます



ぬり絵コーナーの岩田さん



キビタンのぬり絵



猪狩（左）小野さん（中央）岩田さん（右）

岩田さんは日本の遊び紹介コーナーで「ぬり絵」を担当しました。福島県の復興シンボルキャラクター「キビタン」のぬり絵も作ってくれました。マラウイでは、紙やノート、クレヨンや色鉛筆を買って使える子どもたちは多くはありません。それでも子どもたちは、手本を見ながら上手にぬってくれました。紙に書いてある絵に色をぬっていく作業がとても興味深そうでした。福島県のパンフレットも少し置かせていただき、子どもたちにも少しだけ福島県の紹介をさせていただきました。茨城県出身の小野明子さん（2017年度1次隊・公衆衛生）も隣の県のよしみで手伝ってくれました。

カロンガフェスティバルの最後は、お互いの国の伝統的踊りの紹介と体験です。隊員たちはカロンガ伝統ダンスの「マペネンガ」を体験し、マラウイの人たちはソーラン節と盆踊りで隊員たちの輪へ入り一緒に踊りました。ソーラン節と盆踊りでマラウイの人たちも日本語で掛け声をかけてくれて、とても盛り上がりました。

渡邊さんと河崎さんは、カロンガフェスティバルの司会進行、日本文化紹介、手伝いに来た隊員達への指示、参加してくれたマラウイの人たちへのフェスティバルの案内等で大忙しです。前日には隊員のみみんなにカレーを作っておごちそうしてくれたり、当日は手作りのカステラや麦茶の準備もしてくれて、隊員達への日本の心遣いもしてくれて、とてもうれしかったです。

私は、マラウイに来てまだ日が浅いですが、先輩隊員である渡邊さんや河崎さんの活躍ぶりを見て、普段の活動以外にも情報発信や感謝を伝える活動をしていくことも協力隊として大切だと改めて感じました。また、総勢23名が集結できるマラウイに派遣されている協力隊の団結力、行動力、そして大切な絆を感じることができました。



カロンガ伝統のダンス
「マペネンガ」



カロンガに集結した総勢23名のマラウイの青年海外協力隊

※マラウイ エクウエニ通信に書かれている見解は、著者個人のものです。